

平成20年3月21日  
中之島高速鉄道株式会社  
京阪電気鉄道株式会社

## 中之島線各駅出入口のデザインが決まりました

中之島高速鉄道株式会社（本社：大阪市中央区 社長：坂本富司雄）が建設・保有主体、京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区 社長：上田成之助）が運行主体として進めている中之島線整備事業は、本日レールの敷設が完了するなど、本年秋の開業に向けて順調に進捗しています。後は軌道、電気工事や駅設備、内装（デザイン）などの工事を残すのみとなり、最終段階となる出入口部分の工事にも着手します。

中之島線各駅の出入口は「水都・大阪」のシンボルゾーンである中之島エリアに設置することから、機能性とともデザイン性も重視しました。中之島通りに設置する「大江橋駅」「渡辺橋駅」「中之島駅」の3駅の出入口についてはデザインを統一する一方で、中之島公園内に設置する「なにわ橋駅」出入口については、その景観的要素から独自のものとしました。

「大江橋駅」「渡辺橋駅」「中之島駅」の出入口は駅内部でも象徴的に使用している「木(無垢)」と「ガラス」をメインにデザインしたもので、学識経験者からのアドバイスも参考にしながら決定しました。時代に左右されないシンプルな形態の出入口は、「大人の街」中之島にふさわしい景観を演出するものと考えています。

一方、周辺に大阪市中央公会堂や中之島図書館などの歴史的建築物が点在し、再整備計画も進む中之島公園内に位置する「なにわ橋駅」には、より一層の芸術性を求めたことから、世界的な建築家・安藤忠雄氏に設計をして頂きました。同駅の出入口は、円弧状に湾曲した壁の内側にLED照明を内蔵したガラスブロックを張りつめ、照明の強さに濃淡のグラデーションを施すことで、階段を降りるときには水中に潜るような、また、上るときには浮上するような、印象をつくりだす空間を演出します。駅出入口がひとつの巨大な作品となることから、中之島の新たな名所となるものと期待しています。

各駅出入口の概要は別紙の通りです。

(別紙)

各駅の出入口概要

(1) なにわ橋駅

所在地 大阪市北区中之島1丁目地先  
主要外部仕上 金属パネル、ガラス  
出入口 3箇所

(2) 大江橋駅

所在地 大阪市北区中之島2丁目地先  
主要外部仕上 不燃木材、ガラス  
出入口 3箇所

(3) 渡辺橋駅

所在地 大阪市北区中之島3丁目地先  
主要外部仕上 不燃木材、ガラス  
出入口 3箇所 他に中之島ダイビル、中之島地下街とビル接続

(4) 中之島駅(大阪国際会議場)

所在地 大阪市北区中之島4、5丁目地先  
主要外部仕上 不燃木材、ガラス  
出入口 4箇所 他にリーガロイヤルホテルとビル接続

各駅の出入口数は事業費にて設置するものに限る。

## 出入口のデザイン

### (1) なにわ橋駅



東側南北出入口イメージ

#### 景観軸に呼応したボリューム計画 - 街の玄関

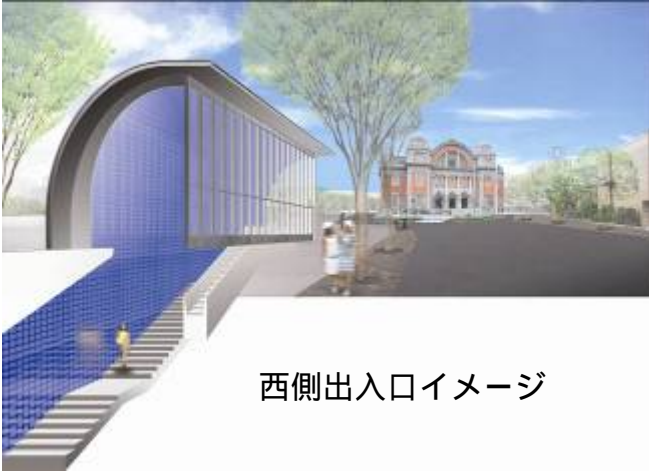
三つの出入口はすべて、円弧状に湾曲した壁が、地中から伸び上がり、難波橋から中央公会堂に向かう街路に向かって開いた形をしています。西側出入口は、公会堂、東洋陶磁美術館に臨み、東側出入口は街路を挟んでゲートのように配置され、公会堂に向かう軸線を強調しています。

#### 人々を誘導する形

壁が地面から生えてきて屋根になった形は、お客さまが地下から地上へ、地上から地下へ、ゆったりとした変化の中、導かれるように移動できることを考えています。

#### ガラスブロックに包まれた階段

西側出入口の湾曲した内側は、背後にLED照明を内蔵したガラスブロックの壁です。照明の強さに濃淡のグラデーションをつけることにより、階段を降りるときは、水中に潜るような、又、上がる時には、浮上するような、空間の印象をつくりだします。



西側出入口イメージ



なにわ橋駅内部イメージ

## (2) 大江橋駅・渡辺橋駅・中之島駅

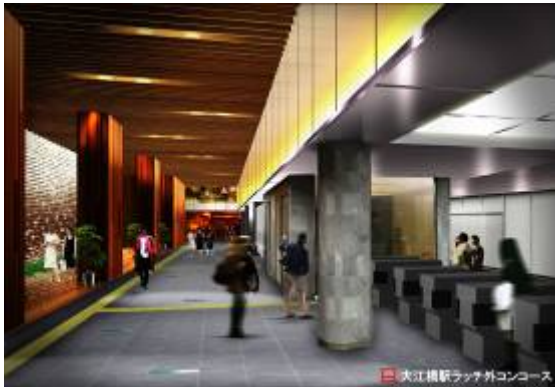


出入口イメージ

日本の伝統的な格子を現代的にデザインしました。スリット状にランダムに木の壁を配置することで、木の素材感を出すとともに、見る角度によって変化する景観を楽しむことができます。

シンプルな形態のデザインは街から望む景観になじみ中之島の新しいランドスケープとして認知されると考えます。

夜間においては中之島地区の街の行灯(あかり)として、温かで優しい光を放ち、水辺に映る彩りが水都大阪の景観を演出します。



大江橋駅内部イメージ



渡辺橋駅内部イメージ



中之島駅内部イメージ



大江橋駅イメージ



渡辺橋駅イメージ



中之島駅イメージ

以上